



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 コメ兵 上場取引所 東 名
 コード番号 2780 URL http://www.komehyo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 卓児
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部担当 (氏名) 鳥田 一利 TEL 052-249-5366
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	33,916	13.0	1,461	184.2	1,472	194.8	963	—
29年3月期第3四半期	30,023	△11.5	514	△75.9	499	△76.4	80	△94.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 971百万円 (928.2%) 29年3月期第3四半期 94百万円 (△93.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	87.92	—
29年3月期第3四半期	7.31	—

(注) 平成30年3月期第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は1,000%以上となるため「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	29,425	18,833	64.0	1,718.89
29年3月期	25,415	18,190	71.6	1,660.26

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 18,833百万円 29年3月期 18,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,800	11.6	1,580	89.8	1,580	93.7	1,020	186.7	93.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（平成30年2月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社イヴコーポレーション及び、株式会社アークマーケティングジャパンの株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	11,257,000株	29年3月期	11,257,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	300,503株	29年3月期	300,399株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	10,956,544株	29年3月期3Q	10,956,601株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、東京証券取引所への決算発表後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済が回復に向かう中、企業収益や雇用環境の改善等が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、収益力の回復・強化を目指し、平成29年2月の大阪梅田への大型店出店に引き続き、同年5月に名古屋駅前、新宿東口に大型店を出店いたしました。また、店舗のオープンやセールに伴うWEBやマスメディア等を活用した様々な販売・買取促進施策を実施するとともに、在庫コントロールの強化による売上高総利益率の改善に取り組みました。

平成29年11月には、ブランド品を中心とした高級品専門のフリマアプリ事業に参入し、個人間取引のニーズに応える鑑定付のサービスも可能な「KANTE」を開始いたしました。また、同年12月には、当社ファッションリユース事業のアパレル、スニーカー、シューケア商材の専門性強化等の面でのシナジーを図り、他社との差別化を推進することを目的として、株式会社イヴコーポレーション及び、株式会社アークマーケティングジャパンを子会社化いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は33,916百万円（前年同四半期比13.0%増）、営業利益は1,461百万円（同184.2%増）、経常利益は1,472百万円（同194.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は963百万円（前年同四半期は80百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業では、平成29年5月に「KOMEHYO 新宿店ANNEX」（東京都新宿区）及び「KOMEHYO 名駅店」（名古屋市中村区）を新規出店し、同年同月に「KOMEHYO キャナルシティ博多店」（福岡市博多区）、同年7月に「KOMEHYO 栄セントラルパーク店」（名古屋市中区）及び、同年8月に「KOMEHYO ホワイトティウめだ店」（大阪市北区）を退店いたしました。また、同年12月に株式会社イヴコーポレーション及び、株式会社アークマーケティングジャパンを子会社化いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、株式会社コメ兵は「KOMEHYO」19店舗、「KOMEHYO買取センター」7店舗、「LINK SMILE」5店舗、「USED MARKET」3店舗、株式会社イヴコーポレーションは「WORM TOKYO」1店舗となりました。

中古品仕入高につきましては、新規出店や積極的な買取促進施策が奏功し、個人買取が概ね順調に推移したことから、個人買取仕入高は14,366百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

売上高につきましては、新規出店や70周年の謝恩セール、クリスマスセールなどの各種販売促進施策もあり好調に推移いたしました。

営業利益につきましては、新規出店に伴う地代家賃の増加等がありましたが、売上高の増収に加え、在庫コントロールの強化による売上高総利益率の改善により、増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は29,947百万円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益は1,220百万円（同219.7%増）となりました。

② タイヤ・ホイール事業

タイヤ・ホイール事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、15店舗であります。

当第3四半期連結累計期間は、イベントやWEB等の各種販売促進施策が奏功し、タイヤの販売が好調に推移したことから、前年同四半期に比べて増収、増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,898百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は199百万円（同75.4%増）となりました。

③ その他の事業

当第3四半期連結会計期間末の主な不動産賃貸物件は5カ所であります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は112百万円（前年同四半期比8.3%増）、営業利益は42百万円（同120.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は29,425百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,010百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が621百万円、売掛金が538百万円、たな卸資産が1,684百万円、その他（預け金など）が832百万円並びに無形固定資産が218百万円増加したことによるものであります。

負債合計は10,592百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,368百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が2,880百万円、未払法人税等が301百万円、長期借入金が133百万円増加したことによるものであります。

純資産は18,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ642百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益963百万円が、剰余金の配当328百万円を上回ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.0%（前連結会計年度末は71.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の動向を踏まえ、通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成30年2月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,926,603	3,548,562
売掛金	1,825,612	2,364,028
たな卸資産	10,022,342	11,706,711
その他	1,966,189	2,798,713
流動資産合計	16,740,747	20,418,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,207,951	3,347,482
土地	1,673,267	1,673,267
その他（純額）	689,314	666,644
有形固定資産合計	5,570,534	5,687,394
無形固定資産	286,734	505,715
投資その他の資産	2,817,323	2,814,588
固定資産合計	8,674,591	9,007,698
資産合計	25,415,339	29,425,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	639,273	755,101
短期借入金	1,650,000	4,530,000
1年内返済予定の長期借入金	496,844	608,382
未払法人税等	136,469	438,415
賞与引当金	374,248	215,363
商品保証引当金	15,773	17,910
ポイント引当金	90,353	103,858
その他	913,799	982,764
流動負債合計	4,316,762	7,651,796
固定負債		
長期借入金	2,245,866	2,379,311
役員退職慰労引当金	30,207	30,207
商品保証引当金	2,804	1,994
ポイント引当金	39,790	40,399
退職給付に係る負債	336,536	169,705
資産除去債務	229,152	298,025
その他	23,360	21,249
固定負債合計	2,907,718	2,940,891
負債合計	7,224,480	10,592,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,909,872
利益剰余金	14,541,366	15,175,970
自己株式	△80,110	△80,270
株主資本合計	18,174,907	18,809,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,807	26,792
為替換算調整勘定	△4,856	△3,118
その他の包括利益累計額合計	15,950	23,673
純資産合計	18,190,858	18,833,026
負債純資産合計	25,415,339	29,425,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,023,338	33,916,297
売上原価	21,763,257	24,091,493
売上総利益	8,260,081	9,824,803
販売費及び一般管理費	7,745,611	8,362,887
営業利益	514,469	1,461,916
営業外収益		
受取利息	1,213	1,130
受取配当金	15,180	11,796
為替差益	—	2,500
受取手数料	4,760	3,918
その他	2,491	5,235
営業外収益合計	23,646	24,581
営業外費用		
支払利息	12,965	13,100
為替差損	25,473	—
その他	197	805
営業外費用合計	38,636	13,906
経常利益	499,479	1,472,591
特別利益		
固定資産売却益	—	104
固定資産受贈益	—	2,700
受取保険金	17,536	12,743
受取補償金	2,500	28,812
特別利益合計	20,036	44,360
特別損失		
固定資産除却損	32,058	34,217
賃貸借契約解約損	63,572	2,650
減損損失	233,082	6,584
特別損失合計	328,713	43,452
税金等調整前四半期純利益	190,803	1,473,499
法人税等	110,694	510,198
四半期純利益	80,108	963,301
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,108	963,301

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	80,108	963,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,377	5,985
為替換算調整勘定	1,950	1,738
その他の包括利益合計	14,327	7,723
四半期包括利益	94,436	971,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,436	971,024

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社イヴコーポレーション及び、株式会社アークマーケティングジャパンの株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。